

# ～楽しい時間を過ごして欲しい～ 越生の魅力を伝える”まちの案内人”



## Profile

川崎政春さん  
「案内人」の腕章をつけ、越生町の観光案内、ハイキングコースの案内を行っていただいています。雨の日以外は外に出て、困っている人がいたら声をかけるそうです。

案内が必要な人は分かりやすいか

道に迷っている方は地図や携帯を見ながらキョロキョロしているの、すぐにわかります。腕章をつけていると、ハイカーや自転車の方、車の方からも道を聞かれることが多いです。私はもう山の中には行けないので、主に登山口までの案内と山中の危険箇所などをお伝えしています。

また、越生町トレッキング部では、山道のゴミ拾いをしたり、道のわかりづらい所に案内板を立てたりしています。先日は、女性二人が「うめその梅の駅」の裏手の登山口から大高取山を目指していましたが、話に夢中になってしまい、麦原入口あたりで迷っている方もありました。迷っている方がいらしたら親切に案内出来る人が増えたら良いなと思います。

越生町にハイキングで来られる方に一言お願いします

越生町周辺は700m位までの低山が多くあります。今



▲川崎さんがつけている腕章。トレッキング部の方がボランティアで案内人をされています

の季節は天気が良く、虫も少ないので散策するのにオススメです。道に迷うと不安な気持ちになると思います。案内することで楽しい時間をできるだけ長く過ごしてもらいたいです。また、山は日が暮れるのが早いです。時間に余裕をもって楽しんでもらえればと思います。

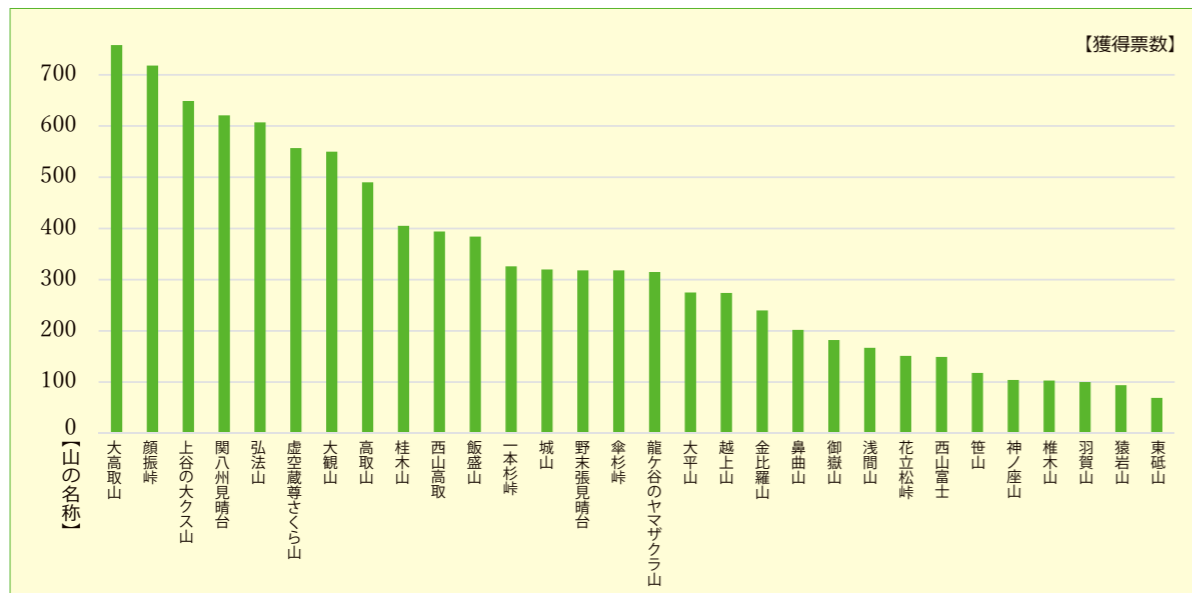
投票は4月30日まで

## 10名山途中経過 (3月10日現在)

昨年の11月から開始した「越生10名山」を決めるランキングの途中経過を掲載します。

### 投票用紙と位置図の設置場所

越生駅西口総合案内所・観光協会オーティック・役場・うめその梅の駅



みなさんは、「まちの案内人」の存在をご存じでしょうか。最近、町の観光案内やハイキングコースの案内など「まちの案内人」として活動している方々がいます。町を訪れるハイカーや観光客からは、「案内人の方に丁寧に教えてもらって助かった。」との声も聞かれます。これからハイキングシーズンを迎える越生町。今日は「まちの案内人」として活動している川崎さんにお話を伺いました。

普段はどういったことをされていますか

黒山から毛呂山町、ときがわ町方面などへ、リハビリを目的に車椅子で自走をしています。その道中で道に迷っている方がいたら声を掛けるようにしています。

私は一日のほとんどが車椅子生活です。腕は動かせませんが、足は全く動かさません。動かせる所を強くしていかないと、今後、介護が必要な状態になってしまうかと思いいつたりハビリトレーニングをしています。



▲ハイカーに道案内をする川崎さん

案内をはじめられたのは何がきっかけですか

車椅子での運動を考えると「パラ陸上、パラサイクリング」等がありますが、高価な物が多いので、今の自分の車椅子での自走を考えました。

案内ができるほど詳しいのはどうしてですか

「越生町トレッキング部」に所属し、山登りをよくしていました。関東一帯の山は良く登っていたので、奥武蔵の山を登って見渡すと全て登った山でした。越生の山も何度も登っており、頭に入っています。